

2024年度
日本女子大学への交流学生
募 集 要 項

同志社女子大学 教務課

日本女子大学

★ホームページ <https://www.jwu.ac.jp/univ/>

◇1901年成瀬仁蔵により創立される。全学生数約6,200名。

◇6学部17学科(2023年度 現在)

国際文化学部 : 国際文化学科

家政学部 : 児童学科、食物学科食物学専攻、食物学科管理栄養士専攻(*)
住居学科居住環境デザイン専攻、住居学科建築デザイン専攻
被服学科、家政経済学科

文学部 : 日本文学科、英文学科、史学科

人間社会学部 : 現代社会学科、社会福祉学科、教育学科、心理学科、文化学科(3.4年次)

理学部 : 数物情報科学科、化学生命科学科

国際文化学部 : 国際文化学科(1.2年次)(**)※出願時注意事項あり。出願希望の場合教務課にて確認すること!

建築デザイン学部(仮称) : 建築デザイン学科(仮称)(***)

(*) 家政学部食物学科管理栄養士専攻への派遣は原則として行っていません。

(**) 2023年4月に人間社会学部文化学科は、国際文化学部国際文化学科として開設されました。

2年次学生は国際文化学科所属、3年次学生は人間社会学部文化学科の所属となります。

(***) 2024年4月開設予定



目白キャンパス : 東京都文京区目白台2-8-1

同志社女子大学と日本女子大学は、交流学生に関する協定を締結し、2003年度より、相互に学生の派遣および受入を行っています。これは、本学の学生が日本女子大学のキャンパスで科目を履修するとともに、日本女子大学の学生が本学で科目を履修するという相互国内留学制度です。1年間、異なった環境のもとで本学にない科目を学習することにより、勉学面ばかりでなく生活面でも視野を広げる絶好の機会です。この制度の概要および出願手続を以下のとおりご案内します。

1. 募集人数 2名程度(派遣期間 1年間)
2. 応募資格 1、2年次生(応募した次年度の2、3年次に派遣)
3. 選考方法 学内成績および面接

学内成績(45点満点)および面接(55点満点)を以て、選考を実施し、合計70点以上を合格とする。「学内成績」については、出願時の前学期末までの累積GPAの10倍とする。最終決定は書類選考により日本女子大学が行います。

※ 面接日 2023年10月25日(水) 17:00以降(予定) キャンパス未定
(一人15分程度)

4. 出願方法

出願受付期間 2023年10月 2日(月) ~ 10日(火)

所定の「日本女子大学交流学生派遣願」を教務課に提出してください。

用紙は教務課で配布もしくは希望者へ郵送いたします。

連帯保証人※(父または母等)の署名も必要ですので、希望者は早めに入手してください。

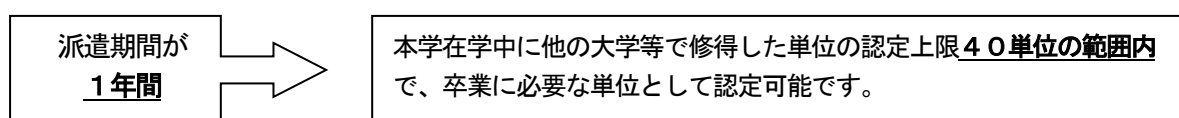
※2021年度以前入学生については「保証人」

5. 単位認定

- ・日本女子大学で、本学の科目と同等であると本学が認める科目を履修した場合は、それぞれ対応する本学の科目を履修したものとみなして、修得した単位を本学で認定します。
- ・日本女子大学の科目を“本学の科目と同等であると本学が認める”ためには、日本女子大学の科目とそれに対応する本学科目とが、科目内容に類似性があり、単位数は同等であることが必要となります。
- ・共通学芸科目は、科目別認定ではなく分野認定とするため、同等の内容でなくても認定可能です。
- ・本学の成績通知書と成績証明書では、評価は「認定」、成績は「N」と記載されます。

① 認定単位数の上限について

日本女子大学で修得した単位の認定は、



なお、本学在学中の下記a～fの項目の認定単位数は、上記の上限40単位の中に含まれます。

従って、a～fの項目の認定をすでに受けている場合や、今後受けたいと考えている場合は注意が必要です。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| a. 同志社大学との単位互換制度に基づく認定 | b. 金城学院大学との単位互換制度に基づく認定 |
| c. 奈良県立医科大学との単位互換制度に基づく認定 | d. 大学コンソーシアム京都単位互換制度に基づく認定 |
| e. 放送大学との単位互換制度に基づく認定 | f. 文部科学大臣が定める学修等による単位認定 |
| (2023年度「履修要項」P23-26参照) | |

＊**本学1年次に入学され、入学時に他大学等で修得した単位の認定を受けている方が、日本女子大学で修得した単位の認定を受ける場合は、先述の認定単位数の上限40単位以外に、「入学時の認定単位数」+「入学後の認定単位数」=60単位の範囲内での認定**という条件もありますのでご注意ください。

② 派遣期間の在学期間への算入について

日本女子大学への派遣期間は、本学の在学期間に含まれます。休学する必要はありません。

先述①程度の単位認定を受けられれば、派遣期間を含めて4年間で本学を卒業することが通常可能です。

注意！

- ＊所属する学部学科・専攻によっては、本学を4年間で卒業できない場合があります。
特に自分の所属する学科・専攻とは別系統の学科への派遣を希望する場合は、事前に教務課で相談してください。
- ＊音楽学科演奏専攻、医療薬学科、看護学科の方は、類似の学科が日本女子大学にないため、本学を4年間（医療薬学科は6年間）で卒業することはできません。
- ＊国際教養学科の方は、国際教養留学との兼ね合いで、本学を4年間で卒業できない場合があります。
- ＊家政学部食物学科管理栄養士専攻への派遣は原則として行っていないので、食物栄養科学科管理栄養士専攻の方も、本学を4年間で卒業することはできません。
- ＊食物栄養科学科食物科学専攻の方は、3年次で留学する場合、4年次科目「卒業論文」の履修前提条件に相当する科目の単位認定を受けることができないと、本学を4年間で卒業することはできません。

6. 開講科目

- ・今年度の開講科目および科目内容・シラバスを、日本女子大学のホームページ (<https://www.jwu.ac.jp/unv/>) 「履修の手引き」 およびシラバスで確認することができます。
- ・日本女子大学ではいずれか1つの学科に所属することになります。所属学科の正規学生がとれる科目は、基本的には履修可能ですが、履修科目によって個別に検討されますので、科目の履修年次制限などで科目によっては履修の許可が下りないこともあります。ゼミ等の履修を希望する場合は、派遣が決まった後、早めに日本女子大学へ意思表示する必要があります。
- ・f-Campus という早稲田大学や学習院大学など4大学との単位互換制度があり、正規学生と同様に履修することができます。（後期科目のみ対象）

7. 学費・費用

学費は、本学に通常どおり納入してください。日本女子大学の学費を二重払いする必要はありません。但し、国内交流先での費用は全て個人負担となります。その他、生活費、交通費等も個人負担となります。

8. 宿舎

学寮は目白キャンパスに2寮あります（^{せんざん}泉山寮、^{せんしん}潜心寮）。

いずれも全学部の学生が入寮申込することができます。

交流学生の入寮費は60,000円となります。（但し、寮費等は全額必要）

参照：日本女子大学公式ホームページ 学寮 | 学生生活支援 | 日本女子大学 ([jwu.ac.jp](http://www.jwu.ac.jp))



※各自で住まいを探すことも可能です。

9. その他

- ・日本女子大学では、日本女子大学の正規学生に準じた取り扱いとなり、規則等に従い、学内諸施設を利用することができます。
- ・履修制度や試験方法等、本学とは異なる制度もあります。派遣されることになった場合、日本女子大学の「履修の手引き」等をよく読んで理解しておいてください。

■ 教職課程等、免許資格に関する課程の履修希望者へ

1. 教職課程の履修について

- ・日本女子大学にも教職課程（幼稚園一種免、小学校一種免、英語・国語・家庭の中一種免と高一種免、社会の中一種免、地歴・公民の高一種免、情報の高一種免他）があり、本学の交流学生が日本女子大学で履修した教職課程科目を、本学の教職課程科目の単位として認定することが可能です。（日本女子大学の教職課程科目には、一部、本学学生が履修できない科目があります。）
- ・教職課程科目への単位認定では、日本女子大学の科目とそれに対応する本学科目とが科目内容と単位数において同等である他に、「免許法施行規則に規定する科目」（『免許・資格関係履修要項』参照）の合致も必要となります。
日本女子大学で履修すべき科目について、**必ず、本学の免許・資格課で事前に履修指導を受け、今後の履修に関して見通しを立てた上で出願してください。**
- ・卒業に必要な単位に算入できない教職課程科目についても、2ページ記載の**認定単位数の上限40単位の中に含まれますのでご注意ください。**
- ・教育実習および教職実践演習は日本女子大学では履修することができません。教育実習や介護等体験等に関する本学での手続き等については、事前に免許・資格課で確認しておいてください。国内留学中でも必要に応じて免許・資格課と連絡を取るようになしてください。

2. 博物館学芸員課程、図書館司書課程、学校図書館司書教諭課程の履修について

- ・日本女子大学にも博物館学芸員課程、図書館司書課程、学校図書館司書教諭課程があり、本学の交流学生が日本女子大学で履修した各課程の科目を本学の当該課程科目の単位として認定することが可能です。但し、**本学の資格課程科目の単位として認定できるのは、各課程の本学での必修科目のみとなります。**
- ・各課程必修科目への単位認定では日本女子大学の科目とそれに対応する本学の科目とが科目内容と単位数において同等である他に、博物館学芸員課程では「博物館法施行規則に定める科目」の合致、図書館司書課程では「図書館法施行規則に定める科目」の合致、学校図書館司書教諭課程では「学校図書館司書教諭講習規程に定める科目」の合致（『免許・資格関係履修要項』参照）も必要となります。日本女子大学で履修すべき科目について、**必ず、本学の免許・資格課で事前に履修指導を受け、今後の履修に関して見通しを立てた上で出願してください。**
- ・卒業に必要な単位に算入できない各課程の科目についても、2ページ記載の**認定単位数の上限40単位の中に含まれますのでご注意ください。**
- ・博物館実習に関する科目および図書館実習に関する科目は、日本女子大学では履修することができません。博物館実習や図書館実習に関する本学での手続き等については、事前に免許・資格課で確認しておいてください。国内留学中でも必要に応じて免許・資格課と連絡を取るようになしてください。

3. 保育士養成課程科目の履修について（現代こども学科）

- ・日本女子大学にも保育士養成課程がありますが、本学の交流学生が日本女子大学で履修した保育士養成課程科目を、**本学の保育士養成課程科目の単位として認定することはできません。**

★ 本学で取得できるその他諸資格の取得希望者についても、必ず、事前に免許・資格課で履修指導を受け、今後の

履修に関して見通しを立てた上で出願してください。

2024年度 日本女子大学 派遣スケジュール(予定)

留学決定まで

- ◆募集説明動画公開 6月下旬頃を予定
- ◆出願受付期間 10月 2日(月) ~ 10月10日(火)
- ◆学内選考(面接日) 10月25日(水) 17:00以降 キャンパス未定
(決まり次第お知らせします)
- ◆日本女子大学へ推薦 11月中旬
⇒学内選考可否について全員に郵送でお知らせします。
- ◆推薦者の受入れ決定 12月中旬~1月下旬
⇒最終決定しましたら郵送でお知らせします。

留学準備

- ◆宿舍決定 1月~3月
⇒日本女子大学寮については日本女子大学の学生支援課へ問い合わせて申し込みます。決定次第、本学へ知らせてください。
- ◆留学前の事前説明会 2月初旬
⇒単位認定に関すること等、今後すべきことの説明・確認を行います。
- ◆履修科目決定 合格後~3月、最終決定4月
⇒日本女子大学の履修科目と対応する本学の認定予定科目を決定します。
教務主任の先生の許可が必要なので、早めに科目を決定します。

留学中

- ◆前期履修登録(日本女子大) 4月
- ◆前期成績通知 9月
- ◆後期履修登録(日本女子大) 9月

留学から戻って

- ◆次年度の履修登録(同女大) 3月末~4月
⇒単位認定(見込)を考慮しつつ、本学の日程に合わせて履修登録を行います。
- ◆後期成績通知 3月末~4月
⇒成績が届いたら、単位認定を最終調整します。
- ◆単位認定作業(同女大) 4月

国内留学経験者の声 ～「同志社女子大学 大学案内」より抜粋～

2021年度に半年間、フェリス女学院大学の日本語日本文学科に留学

(本学での所属：日本語日本文学科)



他大学で学んだことで、
同女での日々が
より良いものに。

03 VISION 150 Interview フェリス女学院大学へ国内留学



沖 佑香里
日本語日本文学科 3年次生
大阪学芸高校 出身



大学の垣根を越えて学びたいと思い、フェリス女学院大学への国内留学にチャレンジしました。寮暮らしは初めてでしたが、サポートが手厚くすぐに馴染めましたし、アジア圏出身の寮生たちとグローバルな交流を持てたこともいい思い出です。期間中は、近現代文学の授業を中心に履修。映画を題材にした授業で、セリフや映像から作者の意図を読み取ることにチャレンジしたり、取り上げる作家や、作品のとらえ方が同女での学

びとは異なったり、新鮮な経験を多く積むことができました。卒業論文は、フェリスで出会った安部公房を題材に執筆予定。留学経験が同女に戻ってきてからも役立っていることを感じています。私自身は近代文学を多角的に学ぶためにフェリスでも文学部に所属していましたが、留学先では学部を変えることもできるため、分野を超えて学びの幅を広げたい、という人にもとてもおすす

2010年度に1年間、日本女子大学の家政学部児童学科に留学

(本学での所属：現代こども学科)

Student's Comment

学生の声

日本女子大学へ留学

学問も人間関係にも
新しい発見がいっぱい。
自己成長を感じた1年間。
森戸 智恵美
現代社会学部 現代こども学科 3年次生
広島県 ノートルダム清心高校出身

高校生の頃、同志社女子大学の大学案内を見て、国内留学制度に興味を持ちました。大学の4年間にもうひとつ別の大学でも学べるなんて、ここでしかできない経験ができるだろうと。そして2年次の1年間、日本女子大学へ留学。児童学科に入り、児童教育や社会福祉、心理学などを幅広く学ぶことができました。建築学科の科目など、本学にはない講義を受けられたのも収穫でした。また一番の思い出は、寮でたくさんの友達と過ごしたこと。いろんな価値観の人とコミュニケーションを取ったり、いろんな地方の方言や食生活を知ったりして、視野がぐんと広がったと思います。

2012年度春学期に半年間、金城学院大学の環境デザイン学科に留学

(本学での所属：人間生活学科)

学生の声 金城学院大学(生活環境学部 環境デザイン学科)に留学



がむしゃらに頑張った
半年間の留學生活で、
新しい自分を発見。

保田 紗希
人間生活学科 4年次生
三重県 暁中学・高校(6年制) 出身

興味のある住生活分野の知識を深めるとともに、新しい視野を持つことで自分の可能性が広がるのではないかと思います。制度を利用。受講したのはインテリアコース。図面や模型を制作する実践的な授業や西洋建築について学ぶ講義など、半年という限られた時間の中で密度濃く学ぶことができ、どんな環境に身を置いてもブレないことの大切さを実感しました。

※両キャンパス教務課で、国内留学経験者の「派遣学生報告書」を閲覧することが可能です。